

第49回全国高校選抜卓球大会 吉住聖香 頂点



卓球にも勉強にも手を抜かない

伝習館スポーツ

創刊号
令和4年4月
伝習館高等学校
広報・中学募集課

第49回全国高等学校選抜卓球大会が3月18日(21日、日環アリーナ栃木(栃木県宇都宮市))で開催され、吉住聖香(現3年・大木中出身)が全国の頂点に立った。

初の頂点に

18日の開会式は感染対策のため観客席に着いたまま行われ、緊張した様子もなくリラックスして臨み、その後は翌日に向けた練習をおこなった。翌日の19日は予選リーグが行われた(各リーグ1位の選手のみが決勝トーナメントに進出できる)。ゲームが進む毎に調子を上げた吉住は、2勝を上げ見事決勝トーナメントへの進出を果たした。

20日の1回戦は、野尻結(福井県・大野)と対戦した。カットを得意とする相手に対し冷静なゲーム運びで勝利した。続く準々決勝では、攻守ともに好調なシヨットを放ち、吉井優空(京都府・京都成章)に快勝した。

最終日の21日は、準決勝・決勝が行われた。ここまで安定したゲーム運びが光り、順調に勝ち上がってきた吉住であったが、準決勝の山本優月(埼玉県・秋草学園)戦では今大会始めて第1ゲームを先取される展開となった。第2ゲ

ームも接戦となったが、デュースの未取り返し、勢いに乗った吉住が第3・4ゲームをもたして勝利を収めた。準決勝が終わってすぐに始まった決勝戦では、準決勝の激戦の疲れも見せず落ち着いたゲームの入りであった。フラット系の強打が武器の下山咲夢(千葉県・千葉商大付)に押される場面もあったが、粘り強く両ハンドで対抗し、栄冠を勝ち取った。

予選リーグ

吉住 3-1 内田(岡山)

吉住 3-0 桑原(福島)

決勝トーナメント

吉住 3-0 野尻(福井)

準々決勝

吉住 3-0 吉井(京都)

準決勝

吉住 3-1 山本(埼玉)

決勝

吉住 3-1 下山(千葉)

卓球一家

吉住は両親の影響で4歳からラケットを握っていた。父勝彦さんは、選手として国体と全日本選手権に出場経験があり、自宅には卓球の練習室を構える。勝彦さんの指導のもと、小学生のときに九州大会で準優勝の実力をつけた。母直美さんも卓球選手としての経験を生かし、プレールの動画撮影や、栄養面でのサポートなど欠かせない存在となっている。伝習館に入学してからも、学校での練習だけでなく、勝彦さんの指導による練習も続けており、休日には、対戦相手を求め、遠征試合を重ねて実力を向上させている。

勉強も手を抜かない

「卓球も勉強も頑張りたい」という強い思いで伝習館を選んだという吉住は、学業成績も非常に優秀であり、常に学年で上位を保持する努力家である。学校行事にも積極的に、大運動会のチアリーダーにも自ら立候補している。2年間皆勤を続けている。

先輩方も大喜び

最終日の21日には、伝習館東京同窓会長の白谷政則氏(高21回卒・横浜市鶴見区在住)が会場に駆けつけ、激励を受けた。ネットのニュースを見て来場されたが、感染防止のため会場内での応援はかなわなかった。後輩の活躍に興奮さみであった。おもしろいお菓子の差し入れも勝利の力となった。



◆◆◆
新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。伝習館での生活に胸を躍らせている方も多いのではないのでしょうか。伝習館には体育系部活動が十一あります。皆さんも文武両道を目指し、心身共に逞しい人間力を身につけましょう。

令和5年度に200周年を迎えます

伝習館は文武両道を全力で応援します



